

仕 様 書

1. 事業名称

2018年度 「九州の食」ブランド化推進事業

2. 事業の目的

旅行における「食」は、旅行先選定の要因となるだけでなく旅行者満足度を向上させるコンテンツにもなる。インバウンドにおいても、地方観光地で「郷土食を食べる」ことは、旅行中にしてみたいことの上に挙げられている。

九州各県の観光情報サイトでは、各県が誇る郷土料理やおすすすめする個店の情報などを情報発信されている、日本酒・焼酎やラーメンなどすでに全国的に認知されている食もあるなど、特に九州来訪経験者に対しては九州の食の魅力が一定程度伝わっていると考えられる。

一方で、首都圏の女性の九州観光イメージでは北海道に比べて食のイメージが弱く、食のブランド化が確立されていないことが課題として挙げられている。

そこで、九州来訪経験者だけでなく未来訪者に対しても、九州の食の魅力を知ってもらうため、九州の食に関する価値の整理を行う。

そのうえで、来訪経験者には、さらに深い九州の食の魅力、食を通じた九州の魅力を伝えていくための記事を作成し、Webなどの媒体を通じて情報発信していくことで、九州の魅力＝食となるような取り組みを進めていく。

3. 事業内容

(1) 「九州の食」の価値の整理

- ・「九州の食」のブランドを作っていくため、軸となる「九州の食」の価値（他地域との違い・優位性）の整理を行う。
- ・また、その価値を体現している代表的な料理などのビジュアルを使いながら文章で表現する。

「九州の食」の価値イメージ

- ・新鮮で豊かな食材（具体例：多様な魚介、肉、野菜、果実等）
- ・身近な生産の現場、新鮮な食材（具体例：呼子のイカ干し、大根槽等）
- ・独特な食文化（具体例：地獄蒸し、薩摩料理、卓袱料理等）
- ・歴史や伝統（具体例：うどんや茶などの発祥の地、伝統製法等）
- ・食を楽しむ生活（具体例：屋台、朝市、屋形船等）
- ・自然との調和（具体例：世界農業遺産・日本農業遺産に取り組む地域等）

(2) 「九州の食」を伝える Web サイト制作、運用

- ・旅ネットの日本語サイト・英語サイトに「食」に関する Web サイト（スマートフォン・タブレット端末に対応したものとすること）を制作し、運用する。
- ・Web サイトの構成は、(1)で整理した「九州の食」の価値、記事のほか、委託事業者の提案による内容とする。

- ・制作する Web サイトは、独自ドメインを設定し、SSL も独自で取得すること。なお、（一社）九州観光推進機構公式サイト「九州旅ネット」で契約しているサーバを利用することも可とする。その場合、ドメインは、<https://www.welcomekyushu.jp/>配下とすること。

(3) 上記サイト内に掲載する「九州の食」に関する取材および記事化

- ・（1）で整理した「九州の食」の価値から、よりコンセプトを絞り、それに則った記事を日本語・英語ともにそれぞれ 20 本（計 40 本）作成する。
- ・ターゲットは、首都圏・来訪経験者（国内客、日本語記事）および欧米豪の訪日来訪経験者（インバウンド、英語記事）をターゲットとして、リピーターが求めるより深い食の魅力や少し足を延ばして食べに行きたい食などを取材し、紹介する食にまつわるストーリー（歴史や文化、生産者のこだわり、地元の人々の食し方、料理人の思いなど）を記事にする。
- ・記事に取り上げる食については、呼子のイカや五島うどんのように地域として取り組んでいる食材や食を取り上げること。また、九州内の特定エリアに偏らないようには配慮すること。なお、日本酒・焼酎などの酒類およびお土産については、本事業では取り扱わない。
- ・英語記事については、日本語記事と同じ食を取り上げること可とするが、英語（欧米豪）の読者が興味を引く視点や内容に再編集する。
- ・1 記事あたりの文字数は、2,000~3,000 字程度の文字数とし、写真は 10 枚程度とする。
- ・翻訳費や取材費用等にかかる経費は一切、業務委託費に含む。

4. 業務委託期間

契約締結の日から 2019 年 3 月 22 日までとする。

5. 業務委託額

4,800 千円（消費税込み）

6. 成果物

- (1) 「九州の食」ブランド化推進事業 事業報告書
- (2) 「九州の食」ブランドを伝えるウェブサイトコンテンツ一式（記事、写真）
- (3) その他、上記に付随するデジタルデータ等

以上